

産業構造審議会 製造産業分科会 車両競技小委員会（第15回）
議事要旨

日時：令和2年10月22日（木曜日）10時00分～12時00分

場所：経済産業省本館17階第2～3共用会議室

出席者

岡委員長、大西委員、絹代委員、根岸委員、古野委員、松田委員、三屋委員（web参加）、山本委員

議題

- （1）中期基本方針の論点
- （2）中期基本方針骨子、中期基本方針関連施策

議事概要

岡委員長により、議題に沿って進行。

配付資料については企業秘密の漏洩やプライバシー保護の観点から非公開、議事要旨及び議事録について、非公開部分を除き公開とすることを了承。

事務局、JKA、全輪協及び選手会から説明があった後、各委員等から意見が述べられた。主な意見と質疑応答は以下のとおり。

議題(1)関連

- 競輪・オートレースの目的を社会還元の最大化と再確認することは良い。
- 近年、インターネットでの車券売上比率が伸びてきているが、競輪は構造的に十分な利益が確保できていなく、運営等に改善の余地があるのではないか。
- 競輪場等の施設整備は、地元の経済にどれだけ貢献しているのか。自治体はどれだけ関心があるか。
- 来場促進を図る目的のCMであれば、競輪場に行ったら楽しいと受手に取られるプロモーションにすることが大事。

議題(2)関連

- 中期基本方針の中で競輪の目的に社会還元の最大化を図ると位置づけることは、達成できない場合、存在意義を失うと自ら宣言するようなもの。ぜひ実行にうつしてほしい。
- 今後は全体最適を作ってから個別最適に目を向けていくことが必要。組織の壁を取り払い、収益の適正化、競輪事業の効率化を図っていくことが必要。
- 今後の5年の取組が大事である。関係団体はコミュニケーションを密に取り、情報共有を図るべきではないか。
- 地域性、ローカル性をうまく組み合わせ、地元選手を応援していくことが必要。また、選手のブランディングも必要ではないか。
- 世間の競輪のイメージは変わっていない。他の公営競技の様に競輪も抜本的な改革が必要ではないか。
- 国際的な展開のための施策について、業界全体としてイメージを持てるような具体的な策が必要。
- 早く実施できる施策は前倒しで実施すべき。eスポーツ等が普及しているが、競輪はそれに対して何か対策を打つか。

お問い合わせ先

製造産業局 車両室

電話：03-3501-1694

FAX：03-3501-6731